

2019 年度 岩国めぐみ幼稚園 自己評価

1. 園の教育目標

共に生きていくために必要なことが形成されていく最も大事な時期の幼児期。幼い子どもたちも大人も共に社会の一員として豊かな成長が得られるように願い、次の3項目を中心に保育しています。

- ①キリスト教保育
- ②のびのび保育
- ③自由・総合保育

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・本園の教育方針、指導計画の再確認を行い、内容を検討し、保育内容、施設の改善に取り組む。
- ・研修等を通じ、保育教諭の専門性・資質を向上し、保育に反映する。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
教育要領、教育課程、子どもの実態を基に指導計画を作成する	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育要領、キリスト教保育誌を用いて、学年ごとに年間、月間週ごとに保育案を作成し保育に反映させている。また、日々の記録を参考にして子どもの実態を把握し、週案の作成に反映させ、園長や副園長と話し合い加筆、訂正を行う。
保育教諭の資質、教育の向上のために研修等を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・各保育教諭は、山口県私立幼稚園協会、岩国私立幼稚園協会、山口県特別支援教育推進室、岩国市子育て支援、日本基督教団西中国教区の各研修会に積極的に参加した。西中国教区幼児施設研修会では、園紹介の発表を行い、次年度の研修会実行委員を引き受けた。また、11月には山口県私立幼稚園協会主催の岩国地区新人研修会が当園で行われ、公開保育、グループ、研究協議を行った。 ・今年も2カ月に1回、園内での研修を行った。危機管理、衛生、支援についてや、公開保育を引き受けるにあたって話し合いや準備を重ねた。2月にはパートの先生も加わり保育教諭全員が同じ場で話し合い、共有できたことが良かった。 ・毎月末の職員会議に加え、各行事や日々の反省や気づきを保育後に話し合い、保育教諭1人1人の資質の向上につなげている。
外部講師による研修	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回、広島よりダンスの先生を招いてリズム遊びを行う。3歳児以上を対象に、クラス毎にリズム遊びを通してステップや身体の動きを学んだ。年長組は4月よりダンスに取り組み9月の運動会で披露した。保護者からも好評で、他のクラスの保護者も1年後を楽しみにされている。年長組がダンスを行っている姿は、年少組、年中組のよい刺激となり、音楽がかかると一緒に踊る姿が見られ、次年度もリズム遊びは続ける。12月の錦帯橋空港フェスタにも参加した。

<p>子育て支援の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の預かり保育を実施し、保護者の急な用事にも対応する。 7:30-8:30の早朝保育も利用があり、保護者にも好評であった。 ・0歳児の受け入れを初めて1年。0歳児や1歳児の入園希望が多く、受け入れの問い合わせも多い。0歳から2歳を受け入れている「ひよこハウス」は常に定員いっぱい、入園をお断りすることが多かった。 ・幼稚園部分(在園児以外)の一時預かりでは、退園後外国籍児の利用が多かった。 ・月2回の未就園児親子当園も幼児体操や園庭開放など、年間計画を立てて行った。6月・12月・2月に行われたコンサートは幼稚園・保育園の保護者にも喜ばれ次年度も計画予定である。
<p>子どもたちへの安全教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して火災はもちろん、地震、水害、台風、感染症、不審者等の避難訓練を行った。子どもたちは、緊急放送の聞き方や避難の仕方も回数を重ねるごとに上手になっている。 緊急でない場合も、放送前のチャイムを鳴らすと遊びを中断し放送を静かに聞くことが出来た。これは毎月の訓練の成果だと思う。 ・防犯への取り組み、災害に備えたマニュアルの見直しをするとともに保護者との連携をどのような形でとるか、また非常食備蓄も検討する。 ・岩国市交通安全対策室による学期ごとの交通教室、JR西日本岩国運転室の方々による年1回の踏切事故防止教室は、子どもたちと共に保育教諭も改めて安全教室の大切さを確認した。 ・1月2月、新型コロナウイルス感染の事が毎日のように報道され、改めて子どもたちに手洗いうがい、消毒の大切さを伝え徹底して行った。
<p>家庭との連携について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・face bookの活用により、ホームページよりも少し軟らかい形で、子どもたちの日々の様子や給食献立を伝えることが出来るように日々更新することを目標にした。保育教諭が1週間交代で、自分のクラスや全体の子どもたちのその日の様子を掲載し、たくさんの方に見ていただくことが出来た。また、ホームページのリニューアルも行い、より園の様子を多くの方々に見ていただけるように工夫した。 ・月1回、クラスだよりを写真付きで発行した。それぞれクラス担任が工夫し、保護者に伝えたいことも記載し1ヶ月の様子を伝えた。 ・緊急連絡を行うために「JMOBILE」のメールサービスを導入している。園だけでなく、山口県からの緊急情報や警察からの情報なども保護者へ情報提供を行った。 ・写真ネット販売「ルクミー」は保護者にも好評で、次年度も継続して行い、写真撮影出張サービスも次年度は検討する。

環境整備の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・園舎外壁の汚れが目立ち、昨年より計画していた外壁塗装工事を行う。子どもたちが毎日当園することを考え、子どもたちの利用が少ない夏休みに工事を行う。保育園の子どもたちは毎日登園することから、保護者の方に送迎の際、怪我のないよう協力をお願いした。工事中に何度か台風が襲来したが、工事業者の方の早めの安全対策で何事もなく、無事に工事も完了した。 ・園舎屋根の防水シートが老朽化し、張り替え工事を行う。外壁塗装工事終了後、引き続きの工事となった。 ・昨年からの課題であるブロック塀の工事について検討し、少しでも早い工事をと、子どもたちの利用が少ない春休みから工事を始めることにした。
---------	---

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果、及び今後取り組むべき課題

<ul style="list-style-type: none"> ・教職員は、各クラスの実態の把握、そこから保育案の作成、実施、反省と一連の流れの中で保育を行うことが出来るように心がけた。その中で園児一人ひとりに必要な援助を研修や園内の競技で分かち合ったことを踏まえ、実施するように努めている。 特に研修面では、小規模で保育園部分もあることから、決して多い保育教諭の人数ではない中、保育教諭の資質向上も鑑みて特に積極的に外部研修にも参加するようにした。 ・事前の準備をより入念に行うことにより、行事だけでなく通常の保育もさらに充実させることが可能だと思うので、園長以下、副園長、担任、補佐、それぞれの職務をその都度確認し今後、より密なる連携を図り一層の努力を重ねていきたい。 ・園舎外壁塗装工事、園舎屋上防水シート張り替え工事も無事に終わり、2020年度は、以前からの課題であったブロック塀の解体、新設工事を行うことにした。新たなフェンス新設に工事に伴い、園庭の手洗い場も検討する。 ・園庭の環境整備が整いつつあるが、遊具で遊ぶ子どもたちの安全性を考え、大型遊具「プレイロード」の周りにゴムチップを埋める工事を検討。合わせて、ひよこハウスから幼稚園園舎への移動で、靴を履き替えなくても通行できるようにここもゴムチップを埋める工事も検討する。 ・保育園部分0歳児から2歳児の「ひよこハウス」は、子どもたちの人数も多いため、継続して昼食時の手伝いを教会の方をお願いした。 ・保育教諭の配置や保育状況を踏まえ、誰でも担当クラス以外のヘルプが出来るようにこれからも幼稚園とひよこハウスの連携を図り、環境を整えたい。 ・新型コロナウイルス感染防止のため、幼稚園①号利用の子どもたちは、3月3日より自主登園(給食、園バスなし)とした。子どもたちの安全を第一に考え、登園、保育、行事についての検討や見直しが必要となった。また、休園になった場合の対応や対策を検討する。 ・園児、保育教諭の検温、手洗いうがい、消毒を継続し、保育室や遊具の消毒を徹底することを教職員全員で確認し、感染防止に努めたい。
--

2019年度卒園児(人)			
	男の子	女の子	計
卒園児	3	8	11

小学校 入学状況(人)

東小学校	川下小学校	愛宕小学校	灘小学校	大竹小学校	計
7	1	1	1	1	11

2019年度 園児在園状況

3/1現在

組名	1号利用			2号			3号			合計
	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	
たんぼぼ0.0								1	1	1
たんぼぼ0								3	3	3
たんぼぼ1							4	3	7	7
うめ		1	1				5	3	8	9
もも	4	3	7	7	9	16				23
ゆり	6	13	19	1	2	3				22
すみれ	1	4	5	2	4	6				11
計	11	21	32	10	15	25	9	10	19	76

通園状況(人)

岩国市	74
大竹市	2

2020年度 園児入園状況

5/1現在

組名	1号利用			2号			3号			合計
	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	
たんぼぼ0							1(1)	1(0)	2(1)	2(1)
たんぼぼ1							4(3)	4(2)	8(5)	8(5)
うめ							4(0)	3(0)	7(0)	7(0)
もも	2(2)	11(10)	13(12)	5(0)	3(0)	8(0)				21(12)
ゆり	4	4(1)※	8(1)※	7	10(1)※	17(1)※				25(2)※
すみれ	7(2)※	13	20(2)※	1	3	4				24(2)※
計	13(4)	28(11)	41(15)	13(0)	16(1)	29(1)	9(4)	8(2)	17(6)	87(22)

() 内は、新入園児数 ※は、転園児

通園予定(人)

岩国市	84
大竹市	1

5. 学校関係者評価

学校関係者評価委員会より、上記1～4の自己評価は適切に評価されているとの意見を頂いた。今後もブロック塀を含め適切な改善をし、こどもはもちろん、保護者、教職員たち大人にとってもよりよい成長の場となるよう激励を受けた。